

つくば市立柳橋小学校を訪ねて

体育館を「キシラデコールフォレストエージ」で塗り替え

低臭性で子どもを預かる環境にも安心

質感の温かさから木材を利用する動きが、学校教育の現場で広がっている。課題は長期利用に向けたメンテナンス。子どもを預かる環境だけに、安心して使える木材保護塗料が欠かせない。十数年来、学校建築で木材利用を推進している茨城県つくば市ではこうした観点から、小学校体育館の塗り替えに低臭性の「キシラデコールフォレストエージ」を採用した。



つくば市教育委員会事務局 教育施設課 主任参事兼課長 矢口正男氏

大断面集成材を用いた見事な体育館が建つ、茨城県つくば市の柳橋小学校。1876年(明治9年)創立の伝統あるこの学校に、2001年3月、プールとともに完成した。外壁には、地元茨城県産のスギ材。

新築当時は自然塗料で仕上げたという。完成から10年以上たったことから、この体育館外壁を2012年の夏に塗り替えた。採用したのは、木材保護塗料キシラデコールの兄弟商品

にあたる「キシラデコールフォレストエージ」。性能はそのままに低臭性を実現した画期的な商品である。

教育上の効果に期待し 学校建築に木材活用

学校建築に木材を利用するのは、つくば市のここ十数年来の方針でもある。市教育委員会事務局教育施設課の矢口正男氏はいう。

「木の質感や温かみ、それが教育上の効果を持つと考えています。子どもの精神的なゆとりや落ち着きをもたらすのではと、期待しています」

ただ、建築基準法関連の防火規定やメンテナンスの必要を考えると、すべての学校建築を木造で、というわけにもいかない。それでも、混構造を採用したり内装材に限って利用したりするなど、市では木材の活用を推し進めてきた。

メンテナンスの基本は保護塗料による塗装だという。

「採用した素材の特性に応じたメンテナンスが必要と考えています。素材の良さを生かす方向でその方法を検討します。学校建築では、その質感を求めて木材を採用しているわけですから、質感を妨げないという

ことを最優先しています」(矢口氏)

保護塗料選定の決め手は 低臭性

学校建築という子どもを預かる環境から、塗料の種類にも気を配る。

「自然塗料はイメージはいいのですが、コストに見合った耐用年数が得られないことがある。広い面の塗装には向いていないと考えています」

保護塗料への基本の考え方を、矢口氏はこう説明する。

こうした考え方から、つくば市では柳橋小学校体育館外壁の塗り替えにあたって、「キシラデコールフォレストエージ」の採用を決めた。原設計者で、塗り替えを含む今回の外壁改修工事でも設計・監理を担当した建築設計者から提案を受けていた。

矢口氏がとりわけ評価するのは、その持ち味である低臭性である。「溶剤を含む塗料では、その臭いが出ます。含まれている物質にデータ上の問題はなくても、この臭いを敏感に感じ取って、化学物質の影響であるかのような反応を示す子どもがいるのも現実です。低臭性の塗料を採用することにより、そうした問題の発生を

柔らかく美しい木材利用の学校 低臭性保護塗料で生まれ変わる



つくば市立柳橋小学校 校長 吉江啓吾氏

木材を用いた学校は柔らかい感じで美しい。それでいて、東日本大震災の時にはまったく被害がなかったほど強い。ただ、メンテナンスが欠かせない点が課題です。

塗り替え前の体育館外壁は、表面に触れるとザラザラで、ささくれが目立っていました。日差しを直接受ける部分は、白く粉っぽくなって色あせていました。

要望が受け入れられ、昨年の夏に念願の塗り替えを果たすことができました。工事期間は夏休み中に取

めることができたので、学校活動に影響を及ぼさず済みでした。この間、学校開放で地域の方が体育館を利用しましたが、塗料の臭いはまったく問題になりませんでした。

塗り替えを終え、まるで建て替わったようにきれいで、児童・職員も地域の方も喜んでいました。他校の先生などの来訪者からも、「立派ですね」と感心されます。メンテナンスさえしっかりできれば、木材を利用することはやはり落ち着きがあっていいものです。(談)

防ぎたいと思いました」(矢口氏)

「キシラデコールフォレストエージ」を用いた塗り替え工事を終えて半年が過ぎた。塗料の臭いを原因とする問題は、工事中から現在までみられないばかりか、建て替えたかのような変身ぶりに、学校現場の児童・職員から地域住民に至るまでの関係者が喜んでいるという。

「長寿命化の求められる時代だけに、学校建築に木材を用いた場合、その質感を長期にわたってどう維持するかが問われています。計画的なメンテナンスの必要があると考えています。「キシラデコールフォレストエージ」の使用感に満足覚えながら、矢口氏は定期的な塗り替えの重要性を再認識しているようだ。

◎キシラデコールフォレストエージの採用例・つくば市立柳橋小学校



外壁塗り替えにあたって「キシラデコールフォレストエージ」を採用した体育館(写真下)。キシラデコールの性能はそのままに低臭性を実現した「フォレストエージ」は、溶剤の臭いへの配慮が必要な学校建築に適していると言える。写真右のように、体育館近くのプール管理棟も同じ「フォレストエージ」で塗り替えた

木材保護のトータルソリューションパートナー

日本エンバイロケミカルズ株式会社



【お問い合わせ】 大阪ガスグループ J-Chem 日本エンバイロケミカルズ株式会社

●大阪 〒550-0023 大阪市西区千代輪三丁目2番37号 ドームシティガスビル ☎06-4393-0054 ●東京 〒105-0014 東京都港区芝二丁目5番10号 芝公園NDビル3階 ☎03-5444-9860
☎0120-124-123 www.jechem.co.jp [キシラデコールに関する情報満載! ▶ www.xyladecor.jp]